

人と人をつなぐ、あなたのベストパートナーでありたい。

稲畑産業グループは、
創業以来の社是ともいえる「愛」「敬」という人間尊重の精神に基づき、
社会の発展に貢献することを経営理念として掲げ、
「時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、
グローバルに事業を展開することにより、
価値ある存在として常に進化を続ける」ことを「目指す姿=Vision」と考えています。

【経営理念】

Mission

「愛」「敬」の精神に基づき、
人を尊重し、社会の発展に貢献する

【目指す姿】

Vision

時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、
グローバルに事業を展開することにより、
価値ある存在として常に進化を続ける

【価値観】

IK Values

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| ・謙虚さと誠実さを基本とする | (倫理観) |
| ・高い理想、大きな夢、熱い心を持って 常に限界に挑戦する | (志) |
| ・自由闊達な議論とチームワークを重んじ、 社員の成長を大切にする | (組織風土) |
| ・顧客の問題を顧客の立場から解決し、 顧客のベストパートナーとなる | (機能) |
| ・世界の人々と価値を共有し、 そこに暮らす人々と共に発展する | (共生) |

トップメッセージ

Top Message

海外ビジネスに注力し、 中期経営計画「IK2013」の達成に邁進

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2012年4月1日から2013年3月31日における事業の概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長 稲畑勝彦

当期の概況について

当連結会計年度における世界経済は、欧州や中国の景気減速があったものの、米国経済に回復の兆しが見られ、またアジアの伸長が全体を牽引しました。

一方、日本経済は、生産の海外シフトが続き、個人消費も低迷しましたが、復興需要の他、後半からの円安を背景にした輸出環境の改善などに支えられ、緩やかに持ち直しの兆しが見られました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、5,011億3百万円(対前期比7.9%増)となりました。利益面では、営業利益は81億6千1百万円(同6.9%増)、経常利益は100億3千4百万円(同13.6%増)、また、当期純利益は69億8千2百万円(同10.9%増)となりました。



中期経営計画「IK2013」2年目を終えて

2年目の進捗状況

当社は、2014年3月期を最終年度とする3か年の中期経営計画「IK2013」を2011年5月に策定いたしました。最終年度に売上5,500億円、営業利益100億円の達成を目指しています。

2年目の進捗状況といたしましては、主にアジアにおいて、情報電子事業や合成樹脂事業を中心に取引が拡大しました。売上高、営業利益については、中計策定時の2年目の目標値を上回ることはできませんでしたが、実績としては、売上高、営業利益に加えて経常利益も過去最高となりました。当期純利益においては、持分法投資損益の改善等により目標値を上回りました。またROE、自己資本比率、ネットD/Eレシオの各指標も目標値をクリアしました。引き続き収益性の向上と財務体質の強化を進めてまいります。

最終年度の目標達成に向けて

海外事業の強化

海外のマーケット、特に新興国とアジア地域に経営資源を重点的に配分して、ビジネスの拡大を目指します。

自動車産業の今後の発展が期待されるメキシコでは、2012年8月に商社拠点を設立したのにつき、現在、現地における顧客のニーズに対応するため樹脂コンパウンド工場を建設中です。

インドにおいては、想定よりやや進捗が遅れていますが、長期的な視点に立って合成樹脂や医薬品関連などのビジネス育成を進めてまいります。

ブラジル、ミャンマーにおいては、市場の研究・調査を進めており、今後の展開に備えます。

引き続き、アジアを中心に、当社の主力事業である情報電子事業や、合成樹脂事業をさらに強化することはもちろんですが、従来、海外展開が遅れていた住環境事業や食品事業においても、新たな海外マーケットの開拓をスピードアップいたします。

また現在、海外ビジネスにおける顧客は、現地の日系企業が中心ですが、今後は日系顧客との好関係を維持しながら、各国の現地顧客との取引をより深耕させていきます。

環境・エネルギー、ライフサイエンス事業への取り組み

環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化を進めています。リチウムイオン電池関連では、市場の立ち上がりが遅れていますが、電池評価・試作ビジネスは順調で、今後もさらに拡大を目指します。またライフサイエンス関連では、フランスのグループ会社で製造する医薬・化粧品原料の販売などを足掛かりにグローバルな展開を進めていきます。

株主の皆様へ

配当について

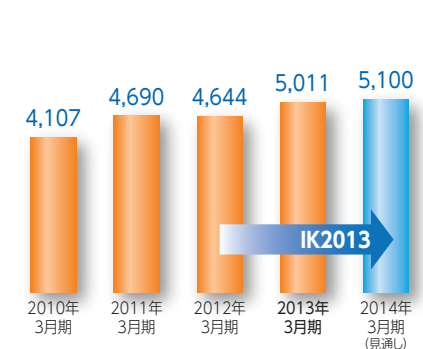
当期の期末配当金につきましては、中間期公表の1株当たり11円から2円増額の13円とさせていただきます。すでに平成24年12月3日に実施済みの中間配当金1株当たり10円

とあわせて、年間配当金は1株当たり23円となります。

2014年3月期は、中期経営計画「IK2013」の最終年度となります。当社グループ一丸となって目標達成に邁進する所存です。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



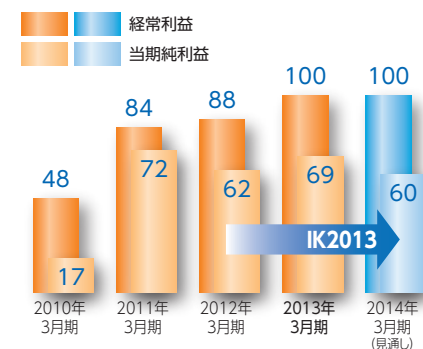
売上高 (単位:億円)



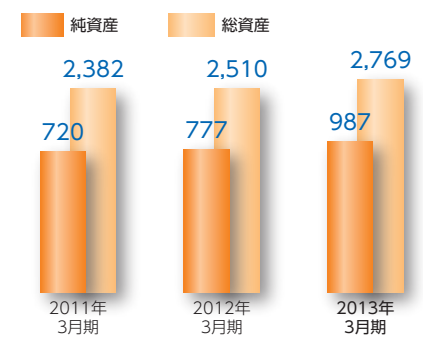
営業利益 (単位:億円)



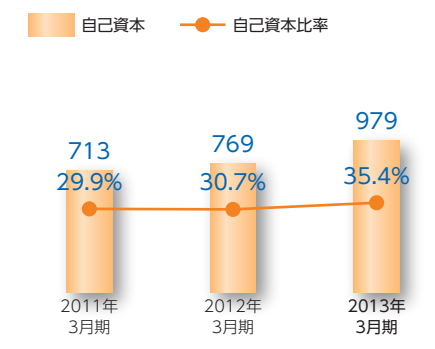
経常利益／当期純利益 (単位:億円)



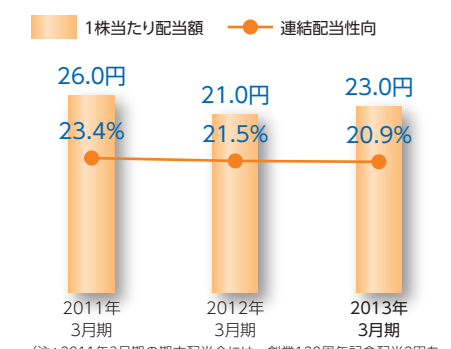
純資産と総資産 (単位:億円)



自己資本と自己資本比率 (単位:億円)

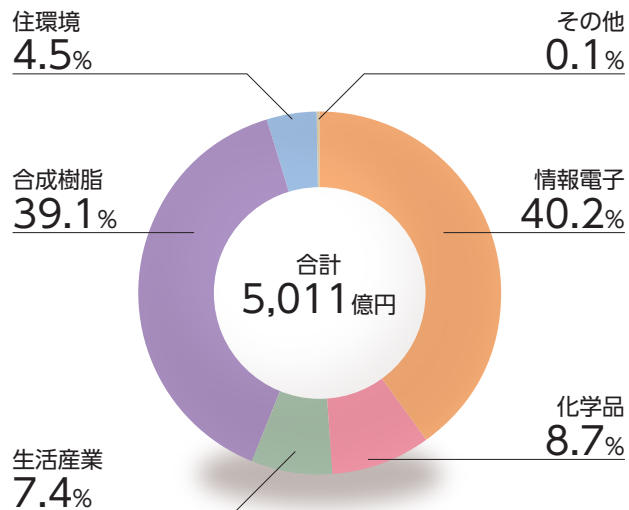


1株当たり配当額と連結配当性向

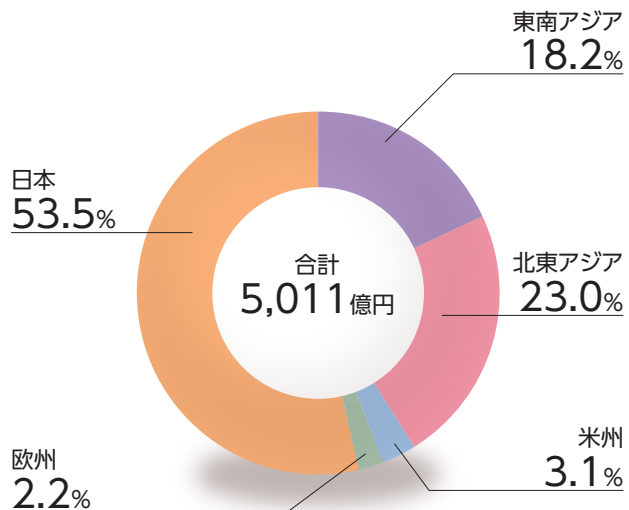


(注: 2011年3月期の期末配当金には、創業120周年記念配当2円を含んでおります。)

事業区分別売上高・構成比 (2012年4月1日～2013年3月31日)



所在地別売上高・構成比 (2012年4月1日～2013年3月31日)

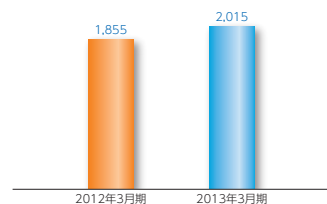


情報電子事業

世界各地の拠点と連携し、原材料だけでなく、二次加工やワールドワイドのサプライチェーン構築などの機能をご提供します。

- 液晶を中心としたフラットパネルディスプレイ (FPD)、LED関連向け部材の販売。メキシコのグループ会社では、FPD用光学シートなどの加工も行っています。
- 複写機・プリンター向け、トナーやインクの原料、カートリッジなど各種関連部材の供給や物流管理。
- 太陽電池や各種二次電池、半導体分野において、原料からプロセス材料、製造・検査装置、受託加工、検査など。

【セグメント別売上】 (単位:億円)



【当期の情報電子事業】

売上高 **201,519**百万円 (対前期比 **8.6%**増) ▲

セグメント利益 (営業利益) **3,415**百万円 (同**24.9%**増) ▲

液晶関連につきましては、台湾、中国など北東アジア向けの偏光板原料や関連部材の販売が伸びました。

インクジェットプリンター関連材料につきましては、コンシューマー分野は減少しましたが、産業用分野は引き続き伸びました。

複写機分野につきましては、トナー原料の国内販売が好調でした。

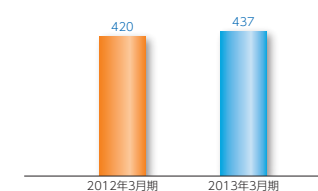
太陽電池関連につきましては、国内では関連部材の販売が好調でした。二次電池関連は、試作評価ビジネスが堅調に推移しました。

化学品事業

マーケット、商材の専門知識に加えて物流関連の機能をいかし、顧客のニーズに合わせた最適なソリューションをご提案します。

- スペシャルティケミカル部門／自動車部品から電子材料まで多岐にわたる業界にて、高性能化学品をグローバルに展開。
- パフォーマンスケミカル部門／塗料・インキ、接着剤、製紙分野向け各種原材料の販売。タイのグループ会社では、ニトロセルロース (硝化綿) を製造、また、中国では、塗料原料の希釈加工などを行っています。

【セグメント別売上】 (単位:億円)



【当期の化学品事業】

売上高 **43,727**百万円 (対前期比 **4.0%**増) ▲

セグメント利益 (営業利益) **345**百万円 (同**11.6%**減) ▼

スペシャルティケミカル関連につきましては、自動車部品向けの販売が減少しました。樹脂原料・添加剤は、電機・電子部品向けの需要が回復せず低調でした。

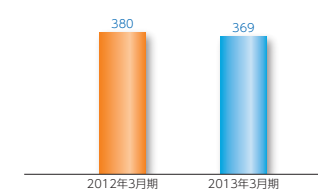
パフォーマンスケミカル関連につきましては、国内では塗料・インキ分野が低調でした。タイで製造するニトロセルロースの販売は好調でした。製紙・段ボール関連ビジネスでは、震災の影響から回復し伸びました。中国では、化学原料の新規販売が増加しました。

生活産業事業

ライフサイエンスと食品を通じて、人々のより健康で快適な生活に貢献します。

- ファーマケミカル部門／医薬原料や有機合成受託など製薬分野に特化。フランスのグループ会社では、医薬中間体や電子材料向けの化学品を開発・製造しています。
- 環境・ファインケミカル部門／防虫・殺虫剤や芳香・消臭剤など、家庭用品分野にて、企画から製品の供給まで。
- 食品部門／安心・安全な水産物、農産物を世界中から提供。国内グループ会社では材料の加工も行っています。

【セグメント別売上】 (単位:億円)



【当期の生活産業事業】

(売上高) **36,954**百万円 (対前期比 **2.8%**減) ▼

セグメント利益 (営業利益) **1,553**百万円 (同**1.4%**増) ▲

医薬原料関連につきましては、ジェネリック薬向けの販売は好調でしたが、新薬向けは開発の遅れなどにより低調でした。

殺虫剤関連につきましては、天候不順の影響により販売が減少しました。

食品関連につきましては、米州において冷凍フルーツのアジア向け輸出ビジネスが好調でした。寿司エビ、ウニなどの水産物は主産地での漁獲高の減少を受け、販売が減少しました。

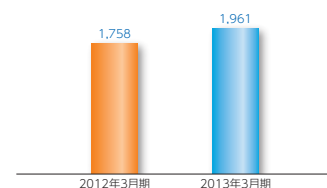
※2012年4月よりセグメント区分を変更いたしました。各情報は変更後の区分に基づき作成しております。

合成樹脂事業

国内外のネットワークとグループ内のメーカー機能を活用し、材料の選定から加工に至るまで顧客をトータルにサポートします。

- 日用雑貨、家電、自動車等の分野向けに、汎用樹脂からエンブラまで各種合成樹脂材料の取扱い。
- アジア5カ国7工場において樹脂コンパウンド加工拠点を展開。
- フィルム、シート部門では、素材選定から加工、最終製品のパッケージングまでをサポート。国内外で製造・加工機能を持ち、お客様のニーズに応えます。

[セグメント別売上] (単位:億円)



住環境事業

原材料の調達から最終製品までの加工、物流をトータルに担う「一貫ビジネス」を展開、安心して使用していただける商材をお届けします。

- 住宅建材部門／ハウスメーカーや建材メーカー向けに、集成材、パーティクルボード等の環境配慮型商品を国内外から調達。
- 環境資材部門／住宅設備機器メーカーを中心に、接着剤・断熱材原料等の化成製品や合成樹脂、住設機器関連製品など、原材料から半製品、製品まで、あらゆる商材をお届けします。

[セグメント別売上] (単位:億円)



[当期の合成樹脂事業]

(売上高) **196,103**百万円 (対前期比 **11.5%**増)▲

セグメント利益 (営業利益) **2,455**百万円 (同 **5.3%**減)▼

樹脂の国内販売は、自動車関連、土木関連を除き、不調でした。

フィルム、シート関連の国内販売は、後半は食品関連を中心に復調傾向となりました。

東南アジアでは、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピンで車両関連分野を中心に、樹脂の販売が好調でした。

北東アジアでは、中国において樹脂の販売が伸長しました。

アジア各地で展開する樹脂コンパウンド事業は、ベトナム、タイ、インドネシアでは日系顧客向けを中心に伸長しました。

[当期の住環境事業]

(売上高) **22,278**百万円 (対前期比 **0.4%**減)▼

セグメント利益 (営業利益) **159**百万円 (同 **24.1%**増)▲

住宅建材につきましては、ハウスメーカーに対する販売が順調でした。また木質ボード関連も順調に推移しました。

環境資材につきましては、住宅設備機器メーカー向けの樹脂原料販売がスポット受注もあり前半順調でしたが、後半減少しました。

創業者ゆかりの地、リヨン(フランス)

当社の創業者・稲畑勝太郎は、1877年から8年の間、京都府の派遣留学生の一人として15歳でリヨンに渡り、8年にわたって当時の最先端の染色技術をかの地で学びました。帰国後、京都府の職員を経て、1890年に稲畑染料店を興し、フランスからの合成染料の輸入ビジネスをはじめたのが当社のルーツです。

リヨンは、フランス東南部、ローヌ川とソヌ川の合流点に位置し、フランスの第二の都市として工業や商業・金融業が盛んなだけでなく、約2万人の学生を有する学術都市でもあります。

リヨンの歴史は古く、カエサルがフルヴィエールの丘にローマの植民都市を築く前からガリアの中心地として栄えていました。15世紀にルイ11世が、自由市を開催する特恵を授けたことが契機となり絹織物の交易地として隆盛し、19世紀初頭のジャカード織機の発明とともにリヨンの絹織物工業は急速に発展します。また、生糸の調達先として日本とも深い関わりがありました。

さまざまな時代の建築様式を残す美しい町並みは、1998年にユネスコの世界遺産にも登録されています。



創業者・稲畑勝太郎が化学工業の基礎を学んだラ・マルチニエール工業学校



フルヴィエールの丘、ノートルダム大聖堂を望む



市内を巡るトラム(路面電車)



リュミエール博物館。稲畑勝太郎はリュミエール兄弟が発明したシネマトグラフを日本へ持ち帰りました。



パルクール広場のルイ14世騎馬像

フランスのINABATAグループ
Pharmasynthese S.A.S.

同じくフランス北部ノルマンディー地方には、当社のグループ会社 Pharmasynthese S.A.S.があります。同社では医薬品原料や中間体、化粧品原料、電子材料用化学品などの製造を行っています。ファインケミカルの特徴ある合成技術を持ち、製品は、欧州だけではなく、日本をはじめとするアジアでも販売されています。



工場(ELBEUF)



研究所(LISSES)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前期末 2012年3月31日現在 | 当期末 2013年3月31日現在 | 増減額 |
|---------|---------------------|---------------------|--------|
| 流動資産 | 189,470 | 197,303 | 7,833 |
| 固定資産 | 61,574 | 79,629 | 18,054 |
| 資産合計 | 251,045 | 276,932 | 25,887 |
| 流動負債 | 152,129 | 150,410 | △1,719 |
| 固定負債 | 21,184 | 27,808 | 6,624 |
| 負債合計 | 173,314 | 178,219 | 4,905 |
| 純資産合計 | 77,730 | 98,712 | 20,982 |
| 負債純資産合計 | 251,045 | 276,932 | 25,887 |

Point1: 固定資産の増加

投資有価証券が増加した等のため、18,054百万円増加しました。

Point2: 純資産の増加

その他有価証券評価差額金が増加した等のため、20,982百万円増加しました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前期 2011年4月1日～ 2012年3月31日 | 当期 2012年4月1日～ 2013年3月31日 | 増減額 |
|------------|--------------------------------|--------------------------------|--------|
| 売上高 | 464,429 | 501,103 | 36,673 |
| 売上総利益 | 31,759 | 34,242 | 2,482 |
| 販売費及び一般管理費 | 24,127 | 26,081 | 1,953 |
| 営業利益 | 7,632 | 8,161 | 529 |
| 営業外損益 | 1,202 | 1,873 | 671 |
| 経常利益 | 8,834 | 10,034 | 1,200 |
| 特別損益 | △362 | △93 | 268 |
| 当期純利益 | 6,297 | 6,982 | 685 |

Point3: 売上高の増加

円安の寄与もありアジア地域を中心に海外での売上が増加しました。

Point4: 経常利益の増加

持分法投資損益の改善、受取配当金の増加等のため、1,200百万円増加しました。

Point5: 営業活動によるキャッシュ・フローの増加

税金等調整前当期純利益、売上債権の減少額及び減価償却費が、法人税等の支払額及び仕入債務の減少額を上回ったこと等により、35,333百万円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前期 2011年4月1日～ 2012年3月31日 | 当期 2012年4月1日～ 2013年3月31日 | 増減額 |
|------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △15,534 | 19,799 | 35,333 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,629 | 235 | 1,865 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 12,400 | △13,043 | △25,444 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △318 | 1,040 | 1,358 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △5,081 | 8,031 | 13,113 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 15,777 | 10,756 | △5,020 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 10,756 | 18,985 | 8,229 |

Point6: 財務活動によるキャッシュ・フローの減少

短期借入金の純減少額、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額が、長期借入れによる収入を上回ったこと等により、25,444百万円減少しました。

詳しくは

会社概要

(2013年3月31日現在)

- 会社名 稲畑産業株式会社
- 創業年月日 1890年10月1日
- 設立年月日 1918年6月10日
- 資本金 93億6千4百万円
- 従業員数 585名(グループ会社への出向者を含む)
[連結:3,661名]
- 大阪本社 大阪市中央区南船場一丁目15番14号
- 東京本社 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
- 名古屋支店 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号
- 営業所 松本営業所、九州営業所(霧島市)

役員

(2013年6月25日現在)

| | | | |
|-------------|--------|-------|-------|
| 代表取締役社長 | 稲畑 勝太郎 | 常勤監査役 | 佐藤 精一 |
| 社長執行役員専務取締役 | 中野 佳信 | 監査役 | 越智 豊 |
| 代表取締役専務取締役 | 大槻 延広 | 監査役 | 鈴木 修一 |
| 取締役常務執行役員 | 西村 修 | 監査役 | 松山 康二 |
| 取締役常務執行役員 | 菅沼 利之 | 執行役員 | 望月 卓 |
| 取締役常務執行役員 | 赤尾 豊弘 | 執行役員 | 杉山 勝浩 |
| 取締役執行役員 | 横田 健一 | 執行役員 | 藤園 弘 |
| 取締役執行役員 | 佐藤 友彦 | 執行役員 | 小田 吉哉 |
| 取締役 | 福林 憲二郎 | | |
| 取締役 | 高萩 光紀 | | |
| 取締役相談役 | 稲畑 勝雄 | | |

(注)1.取締役 福林 憲二郎及び高萩 光紀は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2.監査役 鈴木 修一及び松山 康二は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

(2013年3月31日現在)

[発行可能株式総数] 普通株式 200,000,000株
[発行済株式の総数] 普通株式 65,159,227株
[株主数] 5,303名
[大株主の状況](上位10名)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---|-------------|-------------|
| 住友化学株式会社 | 13,836 | 21.8 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,702 | 4.3 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,663 | 4.2 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385093 | 2,150 | 3.4 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 1,736 | 2.7 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 1,180 | 1.9 |
| 稲畑 勝雄 | 1,158 | 1.8 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,114 | 1.8 |
| 丸石化学製品株式会社 | 961 | 1.5 |
| THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT | 800 | 1.3 |

(注)当社保有の自己株式数(1,669,375株)につきましては、上記の表及び持株比率の計算より除いております。

<http://www.inabata.co.jp>

稲畑産業 投資家 検索

「投資家向け情報のページをリニューアル」

最新のトピックスやデータがわかりやすくご覧になれるようにいたしました。また新設ページの『これでわかる 稲畑産業』では、当社の特徴、強み、今後の取組みを4つのステップにわけてご紹介いたします。是非お立ち寄りください。



- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 公告の方法 電子公告 当社のホームページに掲載します。
<http://www.inabata.co.jp/koukoku>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 上場証券取引所 東京・大阪証券取引所 市場第一部
- 証券コード 8098
- 単元株式数 100株
- 会計監査人 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号
銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人
- 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
<※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。>
(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

[株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について]

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

[特別口座について]

株券電子化前にはほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。